

# とちぎ蔵の街、先人が伝える不偏の伝統工芸品を次世代へ ～幸作箒地が創る新たなビジネスプロジェクト～

栃木県立栃木農業高等学校  
農業環境部地域デザイン班



## テーマ① 《栃木市伝統技術を学ぶ》

栃木県は、鹿沼市の「鹿沼箒」や都賀町（現栃木市）「都賀の座敷箒」など全国有数のほうきの産地でした。これらの箒は、箒の根元にある「蛤（はまぐり）」という草が細かく編み込まれた部分が最大の特徴であり、他の箒にない美しさ・丈夫さを有しています。

しかし、現在では、生活スタイルの変化などにより、箒を見かけることは少なくなりました。今では職人さんは数えるほどになってしまい、箒（ほうき）の原料となる草（ホウキモロコシ）を栽培する農家さんも高齢になり引退するなど、その数は数えるほどになってしまいました。

また、近年国産箒（ほうき）の需要が増えており、特に都心近郊への販売が急務となっています。そこで、私たち高校生がホウキモロコシの栽培と座敷箒の伝統技術を学び、地域小中学校等と連携、栃木市特産品を全国に発信していきます。



ホウキモロコシ栽培



ホウキ作り

## テーマ② 《栃農式有機農法を確立する》

化学肥料・化学農薬を使用せずに、自然の力と有機物を利用する循環型農業を開発する。本校の圃場にて試験栽培しながら、栃木市の有機栽培農家さんと連携し、有機栽培を学習します。また、地域イベントへ参加することでヒトとモノの繋がりを深めていきます。



## 《 活 動 理 念 》

学校で得た学びを地域に還元する、又は地域から得た学びを学校に還元する  
農業高校に入学したからには、農業で生きる術をとことん磨き抜く  
自分に何ができるか、やれることをやろう  
地域を見つめ直し、世界を見よう



THE GLOBAL GOALS